

# 1 学年 図画工作科学学習指導案

指導者

## 1. 題材名 「どんどん ならべて」

### 2. 指導観

- 本学級の子どもたちは、1学期に「でてきたできた」では、砂場で体全体を使って楽しく造形遊びを行った。活動では、山をつくったり、穴を掘ってトンネルをつくって水を流したりしながら、砂の感触や形の変化などを楽しんだ。二人程度の活動から始まり、時間の経過とともに数名のグループへと発展していき、友だちと協力しながら楽しい活動ができていた。「でてきたできた」の題材では、材料が砂ということで「形が変化する」という材料の特徴を生かす経験をすることができたが、材料本来の形を生かす経験は、まだしていない。そこで、本題材を通して、いろいろな材料について色や形の特徴や組み合わせを自分なりに工夫をして、並べることを楽しみ、自分の思いを広げることができるようにしたい。
- 本題材は、身近な材料を並べるという活動を通して、体全体を使って楽しく表現する喜びや楽しさを知ることがねらいである。「並べる」という活動は、接着を必要とせず、1年生の子どもたちにとって、試しながら容易に活動を進めることができる。並べてできた形や色を何かに見立てて遊ぶという「遊び性」も持っているので、子どもたちが楽しみながら進んで活動できる。並べる材料を子どもたちの身近なものにすることで、材料を容易に集めることができる。
- 本題材の指導にあたっては、「教えること」と「学ばせること」を明確にしていく。「教えること」は、並べる活動のみとし、「学ばせること」は、並べるという1つの条件から様々な並べ方を考えさせることとする。

そこで、まず、ペットボトルを数本並べて提示し、子どもたちに「並べる」活動を提案し、並べることの意味を教える。そして、ペットボトルを使って、教師が提案した並べ方以外にどんな並べ方があるか考えようというめあてを持たせ、自分なりの並べ方を見つけるようにする。次の活動では、前時に見つけた並べ方を生かし、並べる材料をペットボトルのキャップ、割りばし、あきかんを加えて、新しい並べ方を見つけるようにする。

最後に、自分や友だちの並べたものを見て楽しむようにする。その際に、自分や友だちの並べ方でよかったところを書き、お互いに伝えるようにする。

### 3. 単元の目標

- 身のまわりにある材料を並べる活動を楽しむことができるようにする。
- 材料の特徴を生かして、様々な並べ方を考えることができるようにする。
- 材料を生かして様々な並べ方を、自分なりに工夫して並べるができる。
- 自分や友だちの並べたものを楽しみながら見ることができるようになる。

### 4. 学習指導計画（全4時間）

- (1) 題材名を知り、ペットボトルでいろいろな並べ方を見つけて楽しむ。 …1時間（本時）
- (2) 前時見つけた並べ方を生かして、材料の種類を増やし、さらに新しい並べ方を見つけて楽しむ。 …2時間
- (3) 自分や友だちの並べたものを見て楽しむ。 …1時間

## 5. 本時（3／4）平成21年10月19日（月） 第5校時 於体育館

### 6. 本時の目標

- 並べることに関心を持ち、活動を楽しむことができるようにする。
- ◎ ペットボトルの特徴を生かし、さまざまな並べ方を見つけることができるようにする。

### 7. 本時指導の考え方

本時は、子どもたちが集めた材料のうちペットボトルを使って、並べるという意味を教え、いろいろな並べ方を見つけさせることをねらいとしている。


そこで、まず、ペットボトルを数本並べて提示し、子どもたちに「並べる」という意味を教える。教師が提案した並べ方以外にどんな並べ方があるか、なげかけ、本時のめあてを確認する。次に、班ごとに決められた場所に分かれさせ、材料コーナーから材料を運び並べる活動をさせる。活動中、並べ方が思いつかない児童や停滞している児童には、支援を行うようにする。できている児童には、並べ方を価値づけたり、賞賛したりして、まとめにつなげるようにしておく。最後に、自分が考えた並べ方に名前をつけ、発表させ、活動を振り返るようにする。その振り返りを生かして、板書を使い、本時で学んだことをまとめるようにする。

### 8. 準備

子ども… ペットボトル

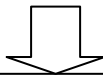
教師 … 材料コーナー、コーン、見つけた並べ方カード

### 9. 本時の展開

学習活動	指導（活動提案・材料提供など）
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) ペットボトルの並べるという意味を知る。</p> <p>(2) めあてを提示する。</p> <div data-bbox="145 1391 810 1534" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>めあて おもしろいならべかたを いっぱい みつけて、あそぼう。</p></div> <p>2 いろいろな並べ方を考え、楽しむ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>○ ペットボトルの並べ方は、1種類を提示し、他の並べ方がないか考えさせるようにする。</li><li>○ 「ならべる」ことと「つむ」、「のせる」ことの違いを明確にし、本時は「ならべる」活動を行うことを知らせる。</li><li>○ めあての提示の時、子どもに着目してほしい言葉を後で提示する。</li><li>○ 班ごとに決められた場所に分かれ、材料コーナーから材料を運び、活動できるようにする。</li><li>○ 工夫の仕方が思いつかない子には、他の子の並べ方を見て回るよう助言する。</li><li>○ 活動が停滞している子には、助言しに行くようにする。</li><li>○ 座席表を持って、工夫しているところやよいところを記録しながら、子どもたちを賞賛する。</li><li>○ 子どもたちの並べ方を価値づけしながら、</li></ul>

3 本時の活動を振り返り、見つけた並べ方を発表し  
 合い、本時学んだことをまとめる。

- ・じぐざぐならべ
- ・へびならべ
- ・まるならべ
- ・うずまきならべ



**まとめ**

たたせたり、ねかせたり、ならべかたを  
 くふうすると おもしろくなる。

発表につながるようにする。

- 子どもが自分の言葉で振り返る時間を取り  
 入れる。
- できた並べ方を次時にも活用できるよう名  
 前をつけるようにする。
- 子どもの振り返りを生かして、板書を使っ  
 て、今日学んだことをまとめる。

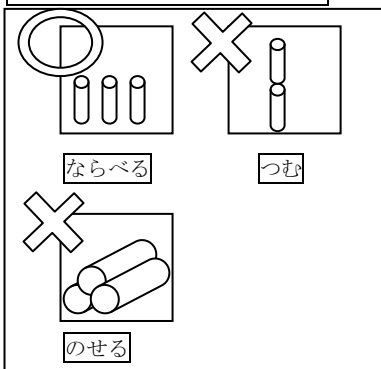
**板書計画**

どんだんならべて

**めあて**

ならべて あそんで おもしろい  
 ならべかたを いっぱい みつけよう。

**ならべるときのルール**



**ならべるときの やくそく**

- ・ざいりょうをマットからはこぶときは、4ほんずつもっていく。
- ・1つのならべかたは、20ほんまでにする。
- ・ならべかたができたなら、ならべかたカードをかいて、そばに  
 おき、つぎのならべかたにチャレンジする。
- ・ざいりょうは、なげたりつぶしたりしない。

**みんなが見つけたならべかた**

- ジグザグならべ
- だんだんならべ
- ダイヤならべ
- うずまきならべ



**まとめ**

たたせたり、ねかせたり、  
 ならべかたを くふうす  
 ると おもしろくなる。

**場の設定**

